

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年 目	中期経営目標	重 点 分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）				
						□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
5	○全教室での「子ども 主体の学び」の実現	★ 継続	・「子どもの主 体の学びの実 現」を意識した 授業づくり・授 業実践を通し て、確かな学力 の定着を図る。	・つけたいを明確にした単元 づくり ・児童と共有した学習課題設定 ・児童の言葉や気づきでつなく 授業づくり(つなぎ言葉) ・自己の学習状況を認識できる 振り返りの充実	・主体的で深い学びに関 するアンケート項目にお ける児童の肯定的回答 80%以上 ・国・算・理学期末テ スト80点以上の児童80% 以上 ・学力テストで目標平均 値に達する児童80% (全児童)	3	3	・視点を明確にして振り 返りを書くよう指導す る。(分かったこと、分 からなかったこと、次時 に学びたいこと) ・「学びづくりポート フォリオ」をもとに、授 業づくり、学びタイムを 行う。	□「学びづくりポートフォ リオ」をもとに、児童のつ まづきを想定しながら教 材研究を行ったことがど の児童にもわかる授 業づくりにつながった。 ◎国・算・理テスト80 点以上の児童90% ◎1,2,3年学力テスト 目標値に達した児童 国算共に84.6% ◎4,5年学力テスト 目標値に達した児童 国算共に84.3%	4	4	4	・「学びづくりポート フォリオ」をもとに、 児童のつまづきを 想定しながら教材 研究を行う。 ・家庭学習の時間を 学年+10分以上を 目標にすることを 全職員で意識統一し、 4月の学級懇談会 で保護者に周知し 家庭の協力も得ら れるようにする。
5	○教育活動全般を通 じた児童の自己肯定 感の高揚	継続	・自他のおよ いところを認め、 優しく助け合 う児童の育成を 図る。	・教育相談体制の充 実（組織的な生徒 指導体制の確立） ・全教職員による 児童一人一人の 情報共有	・児童アンケートによ る「自分にはよいと ころがある」「友だ ちのよいところを みつけようと思 う」と回答する 児童85%以上	3	4	・児童が主体的に活動 できる場を設定し、自 分と友だちを認め る機会を作る。 ・学校生活の様々な 場面で、児童の良 さや頑張りを認 める声掛けを続 ける。	□友だちの「良いと ころ」を紹介しあ う児童会の活動など を通して、自己肯定 感が上がった児童が 増えている。 ◎児童アンケートで 「自分にはよいと ころがある」肯定 的回答89.5% 「友 だちのよいところ をみつけようと思 う」肯定的回答 96.1%	4	4	4	・引き続き児童が 主体的に活動 できる場を設定し、 自分と友だちを 認める機会を作 る。 ・学校生活での 児童の頑張りを 認める声掛けを 続ける。保護 者にも児童の良 いところを見 つけてほめる 声掛けの協 力を願う。
4	○児童の健やかな心 と体の育成	★ 継続	・自分の健康 や体のことを 意識して生活 する児童の 育成を図る。	・体を動かす運 動や遊びの 紹介、実施 ・体育の時間 と家庭学習 をつなげた 運動の実施 ・日常的な学 級指導に加 え、時宜を 得た養護教 諭等による 保健指導	・児童アンケートによ る「体を動かす ことが楽しい」 肯定的回答 97.4% ◎全校で外遊 びをするなど 楽しく体力 づくりができた。 また、自分 の記録の伸 びを実感 できる授 業づくりを 行うことが できた。 ◎メディア コントロール 週間にお ける平日の メディア視 聴時間1時 間以内80% 以上	4	4	・「わくわく タイム」の 内容を幅 広く考え、 外遊 びなどで 楽しく体 を動か せるよう に取り組 む。 ・メディア 視聴時間 をコント ロールで できる 力がつく よう、引 き続き メディア 視聴に 代わる 過ごし 方を 児童と 一緒に 考え ながら 取組 を進 める。	□外遊びを積極 的にしない 児童が寒い 時期と重 なり固定 化してき ている。 ◎メディア コントロール 週間では、 自分の 生活を 振り返 り、設定 した目 標達成 のため 主体的 に取 組むこ とが できた。 ◎児童 アン ケート で「体 を動か すこと が楽し い」肯 定的 回答 94.7% ◎メ ディア コン ト ロール 週 間 に お け る 評 価 指 標 の 達 成 89.2%	4	4	4	・いろいろな 運動を通 じて「で きるよ うにな った」こ との成 就感や 達成感 を感じ させ、 運動が よい外 遊 びなど の機会 を仕組 んでい く。 ・日常的 に児童 がメ ディア コン ト ロール でき る力が 育つよ う、家 庭の協 力を 得なが ら取 組を 続け てい く。
4	○安全で安心できる 学校の実現	継続	・児童と保護 者が安心、安 全な学校生 活を送れる 環境をつ くる。	・保護者への 丁寧な対応 と連携 ・地域人材 等の積極 的な活用 ・効果的な 情報発信 ・学校から の積極的な 情報発信	・保護者アン ケートによ る学校教育 に関する 項目の 肯定的 評価 90%以上 ・学校便 り、校内 掲示、HP による学 校情報 更新 毎月100%	4	4	・児童の課題 を教職員、 スクール カウンセ ラーと共 有し、個 に応じた 指導や支 援を行 うための 会議や研 修の場を もつ。 ・グ ェスト ティー チャー を招 請し、 児童の 主体的 な学び をさら に推 進する。 ・HP更 新の 時間 を確保 し、保 護者や 地域へ 最新 の情 報を 提供 する。	□個々の 児童の 指導、 支援を 複数の 教職員 で連携 して行 い、保 護者へ の連絡 も丁寧 に行 った。 スク ール カウ ンセ ラー を講 師とし て個 々の 課題 に応 じた 研修 を行 い教 育活 動に 活か した。 ◎児童 の学 習や 生活 の様 子を 学校 便り や校 内掲 示で 毎月 発信 した。 また、 月1回 以上、 HPで 最新 の情 報を 公開 した。 ◎「安 心して こと もを 学校 に通 わせ てい る」肯 定的 回答 100%	4	5	5	・報告、連 絡、相 談、確 認を 常日 行い、 全職 員で 全 児童 の教 育支 援を する。 ・保護 者や 関係 機関 と連 携を 図り 有意 義な 教育 活動 を推 進す る。 ・児童 の主 体的 な学 びや 成長 がみ える 学校 情報 を定 期的 に公 開す る。
4	○自分の仕事に意義 ややりがいを感じる 働き方改革の推進	継続	・教職員の 心と体の 元気が児童 の生き生き とした学 びにつな がるよう な学校 運営を 行う。	・定時退校 日の設定 と日々の 退校時刻 の明示 ・2部会、 企画委員 会の定 期開催 による 組織的 な教育 活動の 推進 ・教職員 の授業 改善の ための 理論 研修、 教材 研究の 時間 の確保	・時間外 勤務月 45時間 以内の 教職員 の割合 100% ・「仕事 にやり がい を感じ ている」 と回答 する 教職員 90%以上	3	3	・退校時刻 の明示を 引き続 き行 う。 ・「業務 改善」 に係る 研修 で集 約した 内容 を検討 し、実 践す る。 ・行事 や教育 活動を 全職員 で行 い、 児童 の成 長を 振り 返 る場 をも つ。	□2部会、 企画委員 会を定 期開催 し、見 直し をも って 教育 活動 を行 った。 また、 業務 改善 の内 容を 検討 した。 ◎行事 や教育 活動 の運 営や 振り 返 りを 全 職 員 で 行 った。 計 画に 沿 って 研 修 を 進 め、 全 校 で 授 業 改 善 を 図 った。 ◎時間 外 勤 務 月 4 5 時 間 以 内 の 割 合 8 月～ 1月 100% ◎「仕事 にやり がい を感じ ている」 と回 答 した 職員 の割 合 100%	4	5	4	・分掌業務 の配分 を見直 し均 整を 図る。 2部 会、 企 画 委員 会 の 定 期 開 催 と 全 職 員 の 行 事 運 営 を 継 続 し て 行 う。 企 画 委員 会 で 挙 げ た 業務 改善 案を 来 年 度 より 実 施 す る。 ・教 職 員 の 授 業 改 善 に 資 する 研 修 計 画 を 立 てる。 また、 教 材 研 究 や 授 業 計 画、 準備 の た めの 時間 を 確保 す る。

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準
5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。